

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公開番号】特開2011-229965(P2011-229965A)

【公開日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2011-156356(P2011-156356)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月20日(2012.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

上記課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

複数の識別情報による第1変動表示遊技を実行可能な第1変動表示装置と、

複数の識別情報による第2変動表示遊技を実行可能な第2変動表示装置と、を備え、

前記第1変動表示遊技の結果態様が第1特別結果態様となった場合、又は、前記第2変動表示遊技の結果態様が第2特別結果態様となった場合に特別遊技状態が発生可能な遊技機において、

前記第1変動表示遊技は、第1始動口へ遊技球が入賞する第1始動入賞に対応して実行可能とされ、

前記第2変動表示遊技は、第2始動口に遊技球が入賞する第2始動入賞に対応して実行可能に構成されており、

前記第1始動口と前記第2始動口の2つの始動口は1つの装置内に備えられていることを特徴としている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

請求項1記載の発明によれば、1つの装置内に第1始動口と第2始動口が備えられているので、各始動口への遊技球の入賞率の調整が容易となる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

本発明に係る遊技機によれば、1つの装置内に第1始動口と第2始動口が備えられているので、各始動口への遊技球の入賞率の調整が容易となる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

複数の識別情報による第1変動表示遊技を実行可能な第1変動表示装置と、

複数の識別情報による第2変動表示遊技を実行可能な第2変動表示装置と、を備え、

前記第1変動表示遊技の結果態様が第1特別結果態様となった場合、又は、前記第2変動表示遊技の結果態様が第2特別結果態様となった場合に特別遊技状態が発生可能な遊技機において、

前記第1変動表示遊技は、第1始動口へ遊技球が入賞する第1始動入賞に対応して実行可能とされ、

前記第2変動表示遊技は、第2始動口に遊技球が入賞する第2始動入賞に対応して実行可能に構成されており、

前記第1始動口と前記第2始動口の2つの始動口は1つの装置内に備えられていることを特徴とする遊技機。